(54) DRIVING DEVICE FOR LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL

(11) 4-52683 (A)

(43) 20.2.1992 (19) JP

(21) Appl. No. 2-162340 (22) 20.6.1990

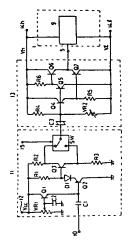
(71) SANYO ELECTRIC CO LTD (72) KAZUTOMO NOHARA

(51) Int. Cls. G09G3/36,G02F1/133,H04N5/66

PURPOSE: To increase the degree of freedom of the design of a video processing circuit and to omit the offset adjustment of a common electrode voltage by providing an output buffer circuit at a past stage of the video processing circuit

and setting the center potential of a video signal to the best value.

CONSTITUTION: The capacitor 3 in the initial stage of an output buffer circuit 13 removes the DC component of the output signal of an analog switch SW and sets the center potential Vcent to 0V. Further, the buffers of transistors(TR) Q4 · Q7, resistances R4 · R6, and a variable resistance VR 2 form a DC superposing means and the voltage at the operation bias points of the TRs Q4 and Q5 are set to the best DC bias value of a center potential corresponding to the driving characteristics of the display panel. Then the best DC bias voltage is superposed upon the output signal of the capacitor C3 and an AC video signal is shifted by an offset quantity to omit the adjustment of the common voltage, so that the display panel 2 is driven in the best state.



(54) DRIVING METHOD OF LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL

(11) 4-52684 (A)

(43) 20.2.1992 (19) JP

(01) 4-020(4 (11)

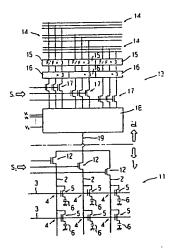
Appl. No. 2-163664 (22) 20.6.1990

(71) NEC KANSAI LTD (72) KAZUMICHI AOKI

(51) Int. Cl⁵. G09G3/36,G02F1/133

PURPOSE: To increase the colors of a color display on an inexpensive liquid crystal display panel by synchronizing a driver IC with respective switching elements of the liquid crystal display panel, and dividing one output of the former into source data with time and supplying them to plural source lines.

CONSTITUTION: The driver IC 13 sends source data out of respective data lines 14 to an output circuit 18 through flip-flop circuits 15, latch circuits 16, and 1st switching elements 17. At this time, the elements 17 are turned ON in order with a gate control signal S₁ and the circuit 18 turns ON desired switching circuits in order according to the source data to output a desired voltage in an intermediate-level voltage. Then the liquid crystal display panel 11 turns ON 2nd switching elements 12 in order with a gate control signal S₂ and plural source lines 2 can be driven in order with desired intermediate level voltages which are divided with time and sent out of one output 19 of the circuit 18.



a: driver IC, b: liquid crystal display panel

(54) MONITOR AND CONTROL EQUIPMENT

(11) 4-52685 (A)

(43) 20.2.1992 (19) JP

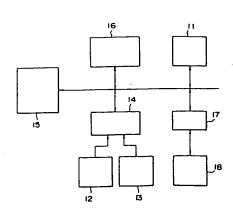
(21) Appl. No. 2-161427 (22) 21.6.1990

(71) TOSHIBA CORP (72) TETSUYA KONNAI

(51) Int. Cl⁵. G09G5/00,G01D21/00,G05B23/02

PURPOSE: To output data to all places of requesting instruments by single key operation by providing a table where the number of digital data output requests, instrument numbers, and output places are registered and a means which repeats output processing as many times as requests.

CONSTITUTION: When there is a data output request, the instrument number, output place, and the number of data output requests are registered in the instrument number area of the data output information control table 16 according to coordinate information outputted from a touch panel corresponding to the screen of a CRT display part 11. When an EXE key is operated, digital data is outputted to "ON" of a push-button switch according to the registered contents and the same processing is repeated until the requests are all outputted. Therefore, even when output requests for digital data are generated successively, the digital data can be outputted speedily by easy operation to improve the function of the whole system greatly.



Best Available Cop

⑲ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報(A) 平4-52684

@Int. CI. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 4年(1992) 2月20日

G 09 G 3/36 G 02 F 1/133

550

8621-5G 8806-2K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

◎発明の名称

液晶表示パネルの駆動方法

②特 願 平2-163664

@発明者青

下木 一道

滋賀県大津市晴嵐2丁目9番1号 関西日本電気株式会社

内

勿出 顋 人 関

関西日本電気株式会社

滋賀県大津市晴嵐2丁目9番1号

创代 理 人 弁理士 江原 省吾

明 細 1

1. 発明の名称

液晶表示パネルの駆動方法

2. 特許請求の範囲

(I) アクティブマトリクス方式の液晶パネルの Y方向に延びてX方向に多数本配列したソースラ インをドライバICで駆動制御する方法であって、

複数のデータラインを有するドライバICの各データラインに第1のスイッチング素子を設けると 共に上記液晶表示パネルの各ソースラインに第2 のスイッチング素子を設応する、ドライバICの1 出数のソースラインに接続し、ドライバICの1 数のソースラインに接続し、ドライバICの第1 の各スイッチング素子を同期させて期次ON・OF Fさせることによりデータラインからのソースデータを時分割してドライバICの1出力から上記データラインと対応するソースラインに供給する動力にしたことを特徴とする液晶表示パネルの駆動方法。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は液晶表示パネルの駆動方法に関し、群 しくはパーソナルコンピュータやワードプロセッ サ等のOA機器、テレビジョンなどのカラーディ スプレイとして使用される液晶表示パネルを駆動 制御する方法に関する。

[従来の技術]

特開平4-52684 (2)

アクティブマトリクス方式が多用されている。

このアクティブマトリクス方式は、液晶表示パネルの各画業にトランジスタ或いはダイオードの制御用業子を有するものであり、この制御用業子にトランジスタを使用したものは、具体的に、ガラス基板上にTFT(Thin Film Transistor;薄膜トランジスタ)を形成した構造を有する。

このTFTによるアクティブマトリクス方式の 液晶表示パネル (1) は、例えば第4 図及び第5 図に示すようにY方向に延びてX方向に沿って多 数本配列したX電極であるソースライン (2)

(2) …と、X方向に延びてY方向に沿って多数本配列したY電極であるゲートライン (3) (3) …とを、液晶 (図示せず) の表面にマトリクス状に配設し、その液晶の裏面側にバックライトを配置した構造で、上配ソースライン (2) とゲートライン (3) の交差点が画素 (4) となり、この画素 (4) にトランジスタ (5) 及びコンデンサ (6) を接続したものである。上記画素 (4) ではトランジスタ (5) が ON して液晶での光の透

過率が変化すると共にコンデンサ(6)が充電され、上記トランジスタ(5)がOFFしてもコンデンサ(6)の充電電圧による液晶での光の透していまるで、1)の方式により液晶表示でのような方式により液晶表示でのでは、1)の画像における画質の向上を図っている。上述のように上記ソースライン(2)に接続している。

(発明が解決しようとする課題)

上述したように従来では、液晶表示パネル(1)のソースライン(2)に所定の電圧を印加するドライバIC(7)の1出力(8)を1対1の対応関係でもって1本のソースライン(2)に接続している。従って、例えばRGBごとに 640、即ち640×3本のソースライン(2)を持つOA機器用カラー表示パネル(1)の各ソースライン(2)に、120本の出力(8)を持つドライバIC(7)を接続しようとすると、計16個のドライバIC(7)を必要とする。

ところで、階間を伴うカラー表示を行う場合には、各画素(4)のトランジスタ(5)に印印電田で複数の中間レベル関目を任意に設定する。例えばRGBごとに8階間を投定する。例えばRGBではとなるとのからした。 階間を増加させようとすると、トラーを指したの制御が乗しくるとのも高値となってで、たいうによりドライベIC(7)の規模が大きくなる最近によりドライベIC(7)の規模が大きくなる最近によりドライベIC(7)の規模が大きると表示バネルのコストアップを招くという問題があった。

そこで、本発明は上記問題点に鑑みて提案されたもので、その目的とするところは安価な液晶表示パネルでカラー表示の多色化を実現し得る液晶 表示パネルの駆動方法を提供することにある。

{課題を解決するための手段}

本発明における上記目的を達成するための技術 的手段は、アクティブマトリクス方式の液晶パネ ルのY方向に延びてX方向に多数本配列したソー

(作用)

本発明方法では、ドライバICの第1のスイッチング素子と液晶表示パネルの第2のスイッチング素子とを同期させて上記ドライバICのデータラインからのソースデータを時分割するようにしたから、ドライバICの1出力から複数のソースラインに上記ソースデータを供給することができ、液晶

特別平4-52684(3)

表示パネルの全ソースラインに接続するドライバ ICのコンパクト化或いは個数の低減化が図れる。 「宝施側」

本発明に係る液晶表示パネルの駆動方法の実施 例を第1図乃至第3図を参照しながら説明する。

次に上記液晶表示パネル (11) のソースライン

(2) (2) …に所定の電圧を印加する本発明の ドライバIC (13) は、第1図及び第2図に示すよ うに複数、例えばRGBに対応させて3本のデー タライン (14) (14) (14) を有する。各データ ライン (14) (14) (14) は 3 ピットのソースデ - 夕を伝送して 8 階碼の 512色カラー表示を可能 とする。尚、上記データライン(14)は必ずしも RGBに対応させる必要はなく、2本或いは4本 以上有することも可能である。また、16階調の40 96色カラー表示を行う場合には、各データライン (14) では 4 ピットのソースデータを伝送するこ とになり、カラー表示での階調設定に基づいてデ - タライン (14) でのピット数を設定すればよい 。上記各データライン(14)(14)(14)にはフ リップフロップ回路 (15) (15) (15) 及びラッ チ回路 (16) (16) (16) が接続される。このフ リップフロップ回路 (15) (15) (15) は 1 ピッ トのソースデータを記憶する回路であり、ラッチ 回路(16)(16)(16)も1 ピットのソースデー 夕を所定時間保持する回路であるため、上述した

ように 3 ピットのデータライン (14) (14) (14) ではフリップフロップ回路 (15) (15) (15) 及びラッチ回路 (16) (16) (16) を夫々 3 個ずつ有する。本発明では、上記ラッチ回路 (16) (16) (16) の出力に第1のスイッチング業子 (17)

(17) (17) を接続し、この第1のスイッチング 素子 (17) (17) (17) を介して出力回路 (18) を接続する。尚、上記第1のスイッチング素子 (17) は各データライン (14) ごとにピット数に 応じて3個ずつ設けられる。上記出力回路 (18) では、データライン (14) の3入力に対して1出 力 (19) が設けられ、この1出力 (19) を液晶表 示パネル (11) の3本のソースライン (2) (2) (2) に第2のスイッチング素子 (12) (12)

(12) を介して共通接続する。この出力回路 (18) は、3ピットのソースデータによるデジタル入力をアナログ変換して所望のレベルの電圧を出力するもので、第3図に示すように8階調によるカラー表示では、トランジスタ (5) (5) …の中間レベル電圧を8段階に設定するために、3ビット

のソースデータと対応する8個のスイッチング回路 (20) (20) …を有し、この各スイッチング回路 (20) (20) …に第1~第8の中間レベル電圧 V₁~V₈を入力する。各スイッチング回路 (20) (20) …の各出力は共退接続されて出力回路 (18) の1出力 (19) となる。尚、この出力回路 (18) の動作時、どのスイッチング回路 (20) (20) …を選択するかはデコーダ回路 (図示せず) によって行われる。

次に上記構成からなる液晶表示パネル (11) 及びドライバIC (13) の動作を説明する。

まず、ドライバIC(13)では、各データライン (14) (14) (14) の 3 ピットのソースデータは フリップフロップ回路 (15) (15) (15) で記憶 されると共にラッチ回路 (16) (16) で所定時間保持される。このラッチ回路 (16) (16) (16) (16) から出力されたソースデータは、第1のスイッチング素子 (17) (17) (17) を介して出力 回路 (18) に送出される。この時、上記第1のスイッチング素子 (17) (17) (17) をゲート制御

特開平4-52684 (4)

信号(S₁)の印加により順次ONさせる。これにより出力回路(18)では、データライン(14)(14)でのソースデータに基づいて所望のスイッチング回路(20)(20)…を順次ONさせて所望の電圧を収入出入する。そして、液晶表示パネル(11)では上記ドライバIC(13)の第1のスイッチング素子(17)(17)と同期させて第2のスイッチング素子(12)(12)(12)をゲート制御信号(S₂)により順次ONさせ、出力回路(18)の1出力(19)から時分割して送り、出力を所望の第1~第8の中間レベル電圧V₁~V₈を所定のソースライン(2)(2)に順次供給する。

ところで、本発明のドライバIC(13)では複数、例えば3本のソースライン(2)(2)(2)のトランジスタ(5)(5)(5)を1つの出力回路(18)で駆動することができる。これに対し、従来のドライバIC(7)では、3本のソースライン(2)(2)(2)のトランジスタ(5)

(5) (5) を駆動するためには3つの出力回路を必要とする。一般にドライバICの出力回路はドライバIC内部に組込まれた回路構成の中で大半の面積を占めるため、出力回路の個数の低減化が図れてドライバIC (13) の大幅なコンパクト化が実現容易となり、或いは液晶表示パネル (11) の全ソースライン (2) (2) …に接続されるドライバIC (13) 自体の個数の低減化を図ることも可能となる。

(発明の効果)

本発明方法によれば、ドライバICの第1のスイッチング素子と液晶表示パネルの第2のスイッチング素子とを同期させて上記ドライバICの1出力からソースデータを時分割して複数のソースラインに供給するようにしたから、ドライバICのコンパクト化或いは個数の低減化が図れるので、安価な液晶表示パネルでカラー表示の多色化を実現することが可能となる。

4. 図面の簡単な説明

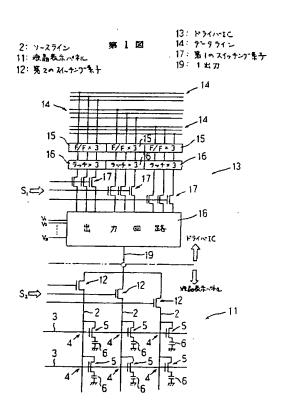
第1図乃至第3図は本発明方法の実施例を説明

するためのもので、第1図は液晶表示パネル及びドライバICの一部を示す部分回路プロック図、第 2図は液晶表示パネルのソースライン、ゲートライン及びドライバICを示す平面図、第3図は第1 図のドライバICの出力回路内部を示す回路プロック図である。

第4図及び第5図は従来の液晶表示パネルの駆動方法を説明するためのもので、第4図は液晶表示パネルのソースライン、ゲートライン及びドライバICを示す平面図、第5図は第4図の液晶表示パネルの画素を示す要部拡大平面図である。

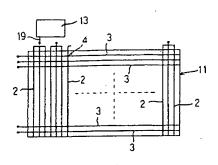
- (2) …ソースライン、(11) …液晶表示パネル、
- (12) ……第2のスイッチング素子、
- (13) ……ドライバIC、
- (14) …データライン、
- (17) ……第1のスイッチング素子、
- (19) ……1 出力。

特 許 出 願 人 関西日本電気株式会社 代 理 人 江 原 省 吾



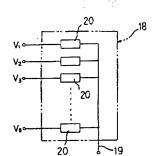
特開平4-52684(5)

第 2 図

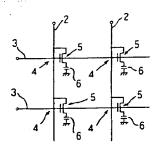


8 3 2 2 2

在 2 页



第5 图



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потикр.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.